



経営ワンポイント情報「不易流行」

by 目加田博史

またまたチャンス到来

ノーベル賞の受賞者が誕生しました。医学・生理学賞に天野浩先生が、物理学賞に梶田先生が選ばれました。連日の受賞に日本中が喜びに沸きかえりました。テニスの錦織圭選手といい、ラグビーのエディ・ジャパンといい、世界に注目され尊敬されることが増えてきました。TPPの大筋合意に達し、いよいよ施行時期を探る段階になりました。景気も悪くありません。

そんな中で安倍内閣の新閣僚が決まり、アベノミクス第二ステージが発表されました。数値目標としては「GDP600兆円」「出生率1.8」「介護離職ゼロ」の3つが掲げられました。いよいよアベノミクス第三の矢である成長戦略のエンジンにパワーが送り込まれ、満を持してスイッチオンで点火されることでしょう。

今までの2本の矢である「異次元の金融政策」「積極的な財政出動」は、大手企業に有利な政策で中小企業に回ってくるまで時間がかかっていました。異常ともいえる円高が是正され、安すぎると批判はありますが、120円代の円安が定着し、金利は限りなくゼロに近づき、経済活動は活発になっているように思います。消費税を見送ればもっと良い形になったと思いますが、過去を変える明けには行きません。しかし、この経験で、次の2%増税は実施する方向になったように思います。

TPPも国内の反応は、さしたる反対もなくシャンシャンと進んでいるのは、なんとも異常ですが、これから批准される段階に入って施行時期には不透明感があると思いますが、ほぼ既定路線になりつつあります。

貿易関税が撤廃されるということは、国内と同じ条件で市場開拓が進むことを意味します。従来国際的な相場観や価格感覚はあまりあてにならなくなります。信頼感のある国の、コンプライアンスの徹底した信用できる企業の、安心・安全な商品が、本当の競争相手となります。価格は重要な要素ですが、信頼・信用・安心・安全の価値観を超えるものではありません。そういう意味で、自社の商品を見直してゆくことが今後の存続と成長発展に不可欠になってきます。

価格競争から価値競争が本格化するのです。TPPをチャンスととらえるか、ピンチととらえるか。第二ステージ発進をチャンスととらえるか、ピンチととらえるか、中小企業を取り巻く環境が激変してゆくこれからは、またまたチャンス到来です。

株式会社目加田経営事務所

<http://21cmc.jp>

那覇 〒900-0014
那覇市松尾 1-18-22 8階
TEL098-864-0331
FAX098-860-3416
Email : mec@mekata.co.jp

京都 〒603-8478
京都市北区大宮釈迦谷 4-10
TEL075-334-5105
FAX075-493-8305

好きなもの「えがお」
得意ワザ「見える化」技術
嫌いなもの「現状維持」

2日間の「マルミエ診断」受付中！！
お電話ください。 098-864-0331